

日本公共政策学会 会報 No.46 2014年4月

PPSAJ Newsletter

Public Policy Studies Association, JAPAN

<http://ppsa.jp>

目次

1. 2014年度研究大会について
2. 2014年度理事候補者選考に関するお知らせ
3. 「公共政策フォーラム2014 in 京丹後」開催予告
4. 第7回関西支部大会開催および報告者募集のお知らせ
5. 新入会員の紹介
6. 次回理事会
7. 事務局からのお知らせ

1. 2014年度研究大会について

- ◇ 共通テーマ：「公共政策と法—政策的思考と法的思考の架橋」
- ◇ 開催場所：高崎経済大学（群馬県高崎市上並榎町1300番地）
- ◇ 開催日時：2014年6月7日(土)～6月8日(日)

■開催趣旨

公共政策と法制度について振り返り、新たな地平を目指す：高崎大会への期待

2014年度研究大会企画委員長 鈴木 庸夫

今回の大会は、政治状況、経済状況も時代の転換期に当たる年に開催されるもので、公共政策や法制度に関心をお持ちの方々に、学問的にも実践的にも裨益することが大きな研究大会を予定しています。

大会全体共通テーマは「公共政策と法—政策的思考と法的思考の架橋」です。初日の共通テーマ(1)では「原子力法制の諸問題」、二日目の共通テーマ(2)では「憲法改正」を取り上げます。(1)は、前年からの課題である大震災を下敷きにしなが、政策課題と法制度のありようが激しくぶつかる諸課題について整理し、将来的な展望も含めた議論が期待されています。(2)は、まさに政治と憲法をどのように考え、いかなる思考をその起点とすべきか、憲法学の理論と政治状況を睨みながらディスカッションしようという企画です。

「公共政策と法」というテーマについては、いろいろな議論が可能ですが、共通していえることは、社会的事象を「類型的」に把握し、そうした「切込み」(種やパターン)によって、日本社会に起こる事象を「パターン・マッチング」しながら対処し、また分析するところにあります。各種法制度はこうした「行為類型」や「人の類型」を前提に、ある時は制裁を科し、ある時は「サービス」や「利益」を与えることによって、公共的な課題に答えようとするものです。日本の行政法規の大部分は、霞ヶ関の

各省庁によって立案・執行されますが、そこでは、法制度の前提となる「行為類型」や「人の類型」、「生活類型」などが、環境の変化によって、立法当時と異なっているにも関わらず、保守的な解釈によって、切り捨てられるという現象も多々生じてきます。したがって、公共政策学もあらたな「類型」を提示することによって、法制度の転換や解釈運用を変えていく力を有しています。

個別テーマセッション①「司法と政策・行政—司法過程による政策法務の可能性」、②「公共選択論及びその政策含意の行方」③「政策実施の中のルールと裁量のバランス」④「日本における男女平等の現状と課題—女性の力を考える」は、以上のような課題意識から企画されています。とくに①は、最近の裁判所による「政策形成」の現状と課題を取り上げ、また③は、「典型的」アプローチのしにくい生活保護行政を取り上げ、「類型」と「裁量」の緊張関係を取り上げようとしています。④は「女性」という類別がいかに取り扱われているか、現状を考察し、他面でその社会的改変力の側面をどう評価するか、扱っています。以上のような本大会のテーマに即した新たな企画のほか、②も公共選択論の節目ともいべき議論を展開しようとしています。公共政策学会の継続的なテーマである⑤「政策系学部、大学院のカリキュラムを考える」⑥「公共政策学の新しい教育研修手法」もあらたなメンバーを加えてパネルを組んでいます。

若手・自由公募は併せて 23 に上り、本年も会員の方々が意欲的に取り組んでいます。時代を反映したテーマも多く、公共政策学会がいかにより多彩な方々によって支えられているかが判ります。時代の転換期は、パラダイムの転換が起こる時期。緊張感の伴った素晴らしい大会になることを確信して、高崎経済大学で会員の皆様をお待ちしております。

■プログラム案

第1日目 2014年6月7日(土)

時間	区分	分類・司会	報告者	テーマ	会場
9:00	受付開始 (1号館 1F)				
9:20 ~10:20 (60分)	若手報告 I	政策転換 司会:松井 望	三谷宗一郎	なぜ政策の根本的転換は起こらないのか—意思決定前提概念による国民皆保険政策の説明	132
			尾田 基	制度化されたロビイングチャンネル:行政上の審議会・懇談会についての分析	
	自由公募 I	情報処理 司会:岡本哲和	榎並利博	電子行政における外字問題について	142
			加納知行	テキストマイニング手法による現代都市計画政策の動向分析	
10:30 ~12:30	個別テーマセッション I	司会 新保浩一郎	田中孝男 横田明美 吉田 勉	司法と政策・行政—司法過程による政策法務の可能性	132
		司会 奥井克美	佐野 亘 富崎 隆 湯之上英雄 横山 彰	公共選択論及びその政策含意の行方	142
		司会	宮脇 昇	公共政策学の新しい教育研修技法 2	151

		和田明子	丸山剛司 窪田好男	ーケースメソッドとゲームー 討論者：縣公一郎	
	自由公 募Ⅱ パネル	司会：佐藤 徹	佐藤 徹 田中 啓 佐藤 幹	行政経営の最前線	145
	自由公 募Ⅲ	政策形成 司会：林沼敏弘	黒澤 之	震災初動に触れた観光地防災計画作成の 意義	144
		立法過程 司会：土山希美枝	松浦淳介	国会における多数派交代と閣法の立法過 程	
	若手報 告Ⅱ	地方自治の在り 方 司会：山口道昭	一瀬敏弘	地方自治体の人事制度改革による政策評 価ー行政職・警察職の職階間賃金格差の比 較分析	143
			田中富雄	ニセコ町まちづくり基本条例の制定効果	134
12：40 ～13：00	総会Ⅰ（旧執行部）			2013年度事業報告、決算報告など	111
13：00 ～13：50	理事会・昼食			新執行部理事会（158） 昼食（学生食堂 7号館1F）	
14：00 ～16：30	共通テーマセッションⅠ 司会：織 朱實		高橋 滋 友岡史仁 田中良弘	原子力法制の諸問題 パネリスト：川合敏樹・長谷浩之・高橋滋・ 友岡史仁・田中良弘	111
16：40 ～17：10	総会Ⅱ（新執行部）			会長の選出など	111
17：20 ～17：50	学会賞授賞式			2014年度学会賞受賞式	111
18：00 ～19：30	懇親会 受賞者スピーチ			懇親会（含む受賞者スピーチ）	7号 館

第2日目 2014年6月8日(日)

9：00	受付開始（1号館1F）				
時間	区分	分類・司会	報告者	テーマ	会場
9：20 ～10：50 (90分)	若手報 告Ⅲ	医療政策 司会：堀真奈美	岡野内徳弥	医薬品事故における再発防止等のための 事故調査の在り方の検討	132
			岡野内俊子	日本版 NIH 創設を受けた、日本での治療開発の 在り方について～希少疾患の治療開発に求めら れる、日本版 ITCC の応用	
			間中健介	ニュー・レイバーの NHS 改革における人的資源 政策ー「現代化」の手段としての外国人医師雇用 の意義と課題	
		日野原由未	費用効果分析に対する裁量統制の限界ー		
		法・政策の経済学	田畑琢己		

		司会：小澤太郎		異なる費用便益要素間の評価に関する研究	142
			能登康之介	医療用医薬品の取引慣行問題形成メカニズムの分析	
		環境政策 司会：金川幸司	渡辺 亨	地域共有材の保全活動における民間企業と行政の連携	151
			村上紗央里	協働による環境教育政策のイノベーションの可能性—環境教育等促進法を題材として	
11：00 ～13：00	個別テーマセッションⅡ	司会：松井 望	山口道昭 関 智弘 岩永理恵	政策実施のなかのルールと裁量のバランス：生活保護制度を事例に 討論者：手塚洋輔	132
		司会：窪田好男	小澤太郎 飯尾 潤 市川宏雄 塚本 壽	政策系学部・大学院のカリキュラムを考える 2	142
		司会：野口暢子	岡澤憲芙 二宮周平 上原恵美	日本における男女平等の現状と課題～「女性の力」を考える 討論者：田村哲樹	151
	自由公募Ⅳ パネル	司会 西田亮介	山口 翔 岩出和也 工藤郁子 西田亮介	情報社会の政策形成 —情報のマネジメントと情報発信 討論者：成原 慧	145
	自由公募Ⅴ	環境問題 司会：佐野 亘	上野眞也	地下水保全政策から考える自己組織化によるガバナンスの可能性	144
永見 靖			付随的業所管行政の研究		
居住選択 司会：後 房雄		玉井雅隆	「保護されない」マイノリティと欧州公共政策	143	
		西出 崇	地方部の青年層における居住地選択志向の分析		
後見制度 司会：田中孝男	三野寿美	任意後見制度における今日的課題	134		
	飯間敏弘	成年後見の実務の現状に関する実証研究			
13：00 ～13：50	昼食（学生食堂なし）				
14：00 ～16：00	共通テーマセッションⅡ 司会：鈴木庸夫		大石 眞 野中尚人 鬼頭 誠	憲法改正	111

*当日教室変更の可能性もありますので、受付で配布する大会案内でご確認ください。

■大会案内

2014 年度研究大会実行委員長 大宮 登

日本公共政策学会の2014年全国研究大会は、高崎経済大学で開催されます。今回の研究大会の共通テーマは、「公共政策と法—政策的思考と法的思考の架橋」です。公共政策にとって法的な思考の再点検をやらずして、より良い政策提言は不可能ということを再確認したいと思います。

自然や食が豊かで、温泉も数多い群馬県のなかで、高崎は人口37万人を抱える地方中核都市です。高崎大会は、上記の要領で研究大会を開催します。また申込み等は下記の要領に従ってお願いします。公共政策を研究している皆さん、また、公共政策に興味関心を持っている皆さん、そして実際に公共政策に携わっている皆さん、ふるってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

◆大会会場

- ・高崎経済大学（J R 高崎駅西口からタクシーで 10 分）高崎市上並榎町 1300

◆懇親会

- ・6 月 7 日（土）に懇親会を開催しますので、当日、受付にて会費をお支払いください。会費は 4000 円の予定です。会場は、高崎経済大学 7 号館 1F です。

◆大会案内・レジュメ集

- ・連休前に発送する予定です。

◆大会参加申込

- ・大会参加の方は、下記 URL から 5 月 25 日（日）までに手続きをしてください（公共政策学会のホームページからもリンクを貼る予定です）。

[高崎大会イベントページ]

<http://kokucheese.com/event/index/163813/>

- ・大会案内・レジュメ集と一緒に送付する申込書に記入して FAX で送っていただいても大丈夫です。
高崎経済大学 大宮研究室 FAX 番号 027-343-4830
- ・大会準備のため、早めの参加申込にご協力をお願いします。

◆予稿集（フルペーパー）

- ・大会報告の予稿集は、準備でき次第、学会のホームページにてアップロードいたします。**事前に**ダウンロードしてください。閲覧には以下のパスワードが必要です。「20ppsaj05」
- ・当日、予稿集 DVD を用意します。1000 円です。

◆宿泊

- ・高崎市内には多数のビジネスホテル等があります。特に大会事務局で特に紹介はしません。皆さんでお手配をお願いします。

◆昼食

- ・1 日目は大学の食堂が開いていますのでご利用ください。2 日目は食堂の営業はありません。大学周辺には食事をするところがありませんので、申しわけないですが近くのコンビニで購入するか、持参してください。ご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いします。

◆報告者等のみなさんへ

- ・当日、会場にはプロジェクター、パソコンを用意します。ご自分のパソコンを持ち込んで頂いても大

丈夫です。

- ・また、会場にはコピー、印刷等の設備はありませんので、当日配布資料がある場合には各自でご用意ください。

◆バス等

- ・大学のバスが、両日とも、高崎駅西口のアーバンホテルの西側道路から大学まで、8:45に出ます。1日目の帰りは、19:40に大学から駅までバスが出ます。ご利用ください。タクシーは高崎駅西口から大学まで15分くらいです。公共交通のバスは約20分くらいですがあまり本数はありません。高崎経済大学のHPで、民間バスの時刻表が確認できます。

◆開催校連絡先

370-0801 高崎市上並榎町 1300 高崎経済大学 大宮登研究室 omiya@tcue.ac.jp

◆予稿集担当

同上 高崎経済大学 秋朝礼恵研究室 a-akitomo@tcue.ac.jp

◆学会事務局

602-0047 京都市上京区新町通今出川

同志社大学政策学部 武蔵勝宏研究室 jimukyoku@ppsa.jp

2. 2014 年度理事候補者選考に関するお知らせ

理事候補者推薦委員長 横須賀 徹

次期理事の選出は、この6月の総会において行われますが、2003年度総会（2003年6月14日に開催）で承認されました「理事選任に関する総会申し合わせ」に従いまして、総会開催前にあらかじめ会員に対して、総会で推薦する予定の理事候補者のリストを通知することになっております。委員会として、理事選出規程に基づいて理事候補者の推薦のための作業を終え、理事候補者の一覧を別紙で同封いたしました。ご意見等がございましたら、下記の理事候補者推薦委員長あてに4月30日までに文書またはメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〒310-8585 水戸市見和 1-430-1 常磐大学コミュニティ振興学部 横須賀 徹

E-mail : tohruyo@tokiwa.ac.jp

3. 「公共政策フォーラム 2014 in 京丹後」開催予告

公共政策フォーラム委員長 林沼敏弘

本年度の公共政策フォーラムは、京都府京丹後市で開催されます。詳細は追ってお知らせしますが、ふるってご参加いただきたくお願いいたします。

日時 2014年10月25日(土)・26日(日)

会場 【1日目(学生コンペ)】

京丹後市役所(峰山庁舎)・峰山福祉センター

(2会場で開催されます。)

【2日目(フォーラム)】

アグリセンター大宮 多目的ホール

○学生政策コンペテーマ

「二十一世紀の北近畿新時代をつくる ～これからの日本と世界の持続可能で真に豊かな発展を先導するモデルとなる地域へ～」

「地域づくりテーマ例」(京丹後市域)

- ① 広域交通ネットワークを活用した観光や、ものづくり産業の本格振興
- ② 再生可能エネルギーを活用した環境循環型社会と未来型の地域活性化
- ③ 農林水産業のブランド化及び農商工観環連携による多次元産業の発展
- ④ 豊かな自然環境を住環境に活用したテレワークスタイルの創造
- ⑤ シルク(絹)を活かしたまちづくり(21世紀のシルクロードをつくる)
- ⑥ 住民総幸福の最大化を目指すまちづくり

4. 第7回関西支部大会開催および報告者募集のお知らせ

2014年度の支部大会は、9月27日(土)に関西大学高槻ミュージックキャンパスにて開催します。今回は、①自由論題セッション、②共通セッション「政策学の標準化」、③シンポジウム「社会安全と公共政策」を予定しています。

現在、自由論題セッション(口頭報告、ポスター報告)での報告者を募集しています。報告を希望される方は、8月1日(金)までに関西支部ホームページで必要な手続きを済ませてください。運営委員会でプロポーザル(2000字程度)を審査した上で、事務局より報告を依頼します。なお、とくに優れたポスター報告については表彰を行います。

詳しくは、関西支部ホームページ(<http://ppsaj-k.blogspot.jp>)をご覧ください。

5. 新入会員の紹介

田中孝男 新保浩一郎 樋口浩一 永見靖 上田健介 依田達郎 川崎修良 東南隆光
宇ノ木健太 三谷宗一郎 小野英一 嶋田暁文 田開健太郎 以上13名の方が入会されました。

6. 次回理事会

- ・第97回理事会 開催日時：2014年4月26日(土)15:00～18:00 同志社大学東京オフィス
- ・第98回理事会 開催日時：2014年6月7日(土)13:00～13:50 高崎経済大学(新執行部による理事会)

7. 事務局からのお願い

1) 会費納入のお願い

2013 年度までの年会費を未納の会員がおられます。何とぞ速やかに納入いただきますようお願いいたします。個人会員は年会費 5,000 円です。未納の方は郵便振替により下記の口座に納入ください。

郵便振替口座:01090-2-44655

加入者名:日本公共政策学会

2) 会員名簿発行について

2014 年版の会員名簿を 9 月めどに作成発行します。所属変更、送付先住所に変更がある方は、事務局宛にメールまたははがきでお知らせください。

会報パスワードについて

学会ホームページに掲載されています過去の会報のバックナンバーの閲覧についてはパスワードが必要です。会員宛てに送付されています会報誌末尾に掲載してありますパスワードをご使用ください。なお、本号はパスワードなしで閲覧できます。

日本公共政策学会 会報 第 46 号【HP 版】

2014 年 4 月 15 日発行

編集・発行 日本公共政策学会事務局

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

同志社大学政策学部 武蔵研究室

電子メール : jimukyoku@ppsa.jp

郵便振替口座 01090-2-44655 日本公共政策学会

学会ホームページ : <http://ppsa.jp/>

PPSAJ Newsletter No.46 April 2014

*Copyright 2014 Public Policy Studies Association,
Japan*